

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

問6 鳥取県の施策等について、あなたの満足度をお聞きますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1~5のいずれかの数字に○をしてください。)

※「5」は満足、「1」は不満

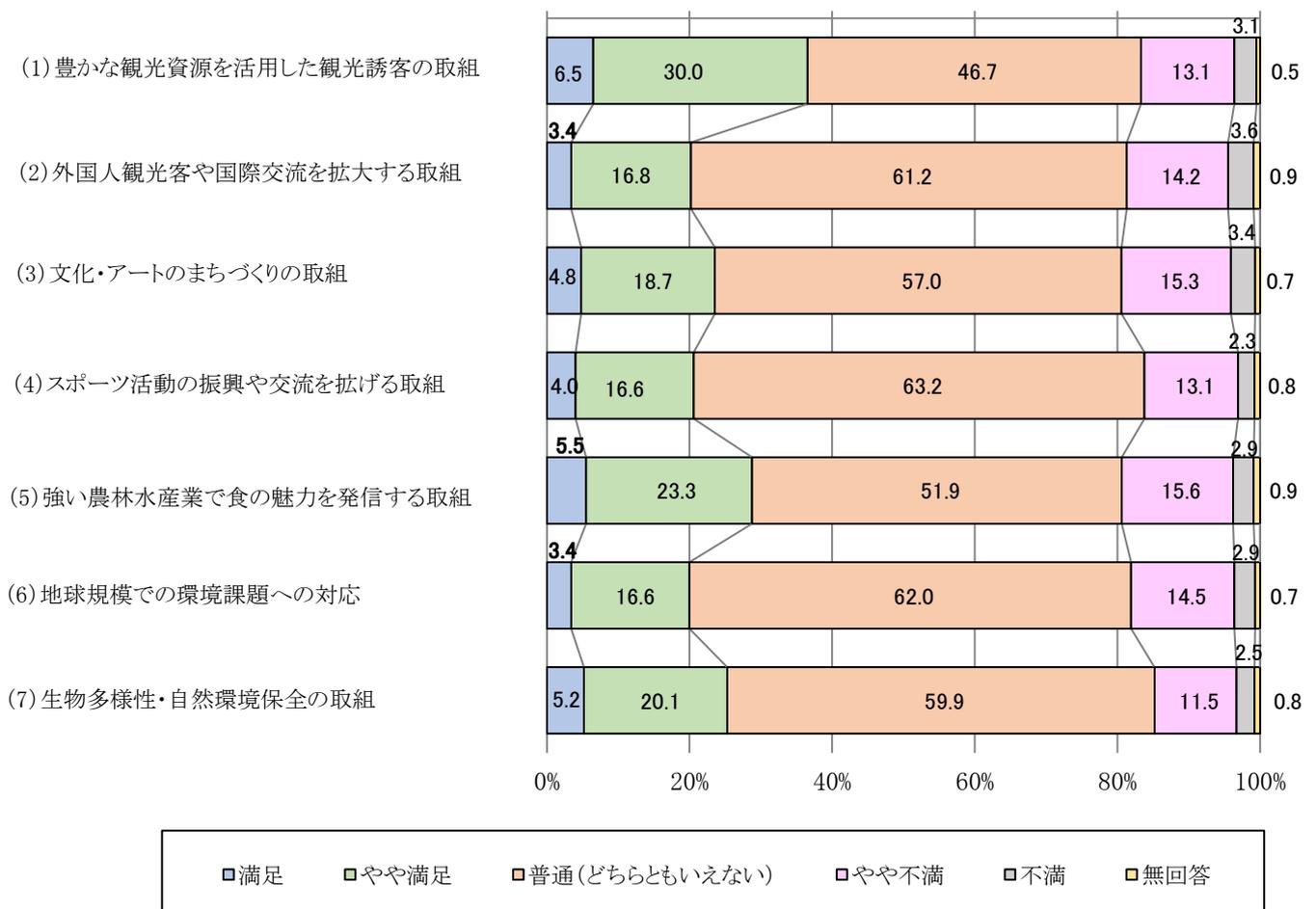
問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」の満足度がトップ～

「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が36.5%と最も割合が高く、次いで「強い農林水産で食の魅力を発信する取組」が28.8%、「生物多様性・自然環境保全の取組」が25.3%と続いている。

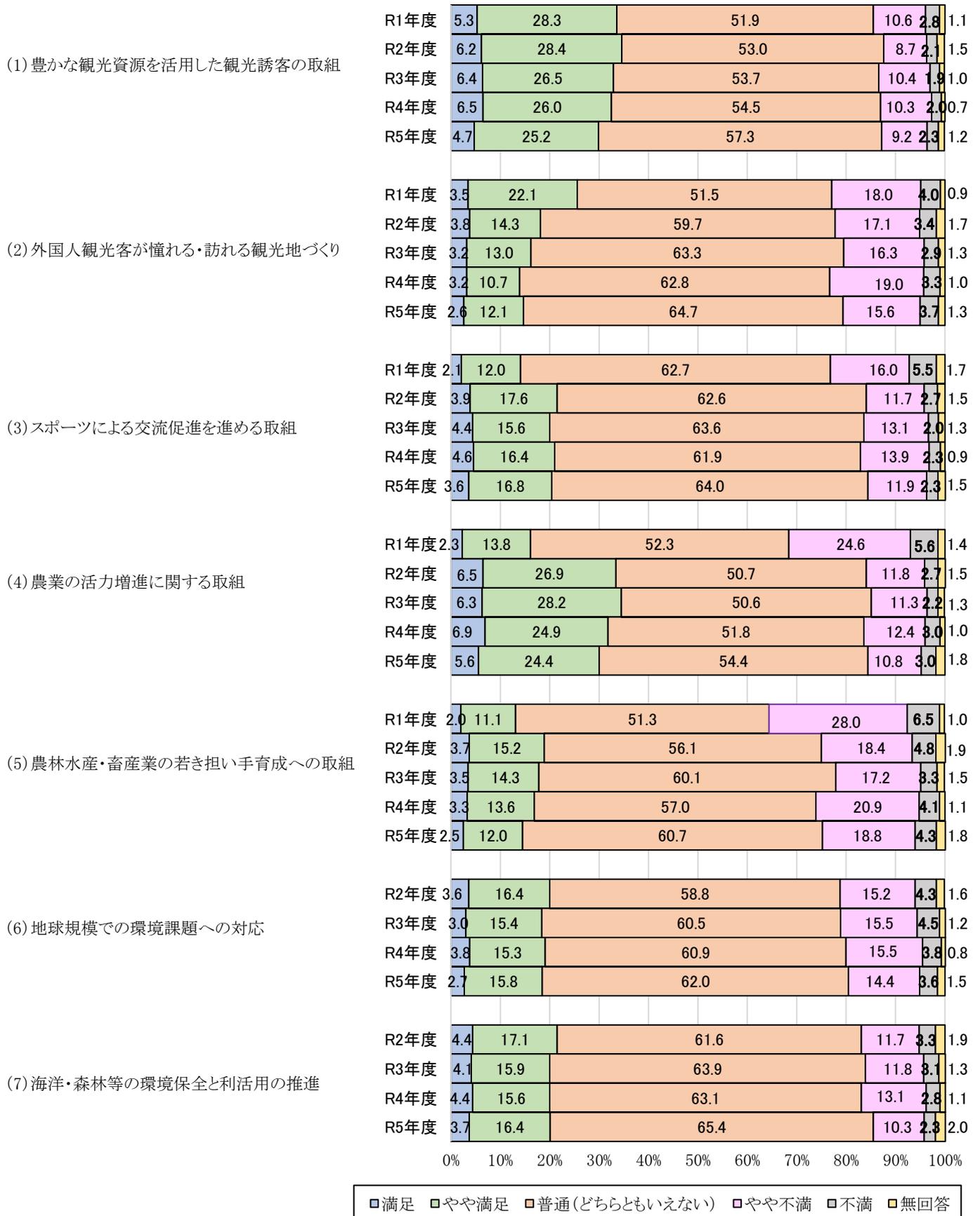
令和元年度-6年度を比較してみると、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」の満足度が令和3年度以降微減傾向であったのが、令和6年度は前年度と比べて6.6ポイント増加しており、「外国人観光客や国際交流を拡大する取組」についても、前年度の類似の項目である「外国人観光客があこがれる・訪れる観光地づくり」と比べて、5.5ポイント高くなっている。

図13 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる



(参考)

図 14 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(令和元年～5年度)



※「アート・文化による地域づくりへの取組」の満足度は 30 ページに掲載

問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

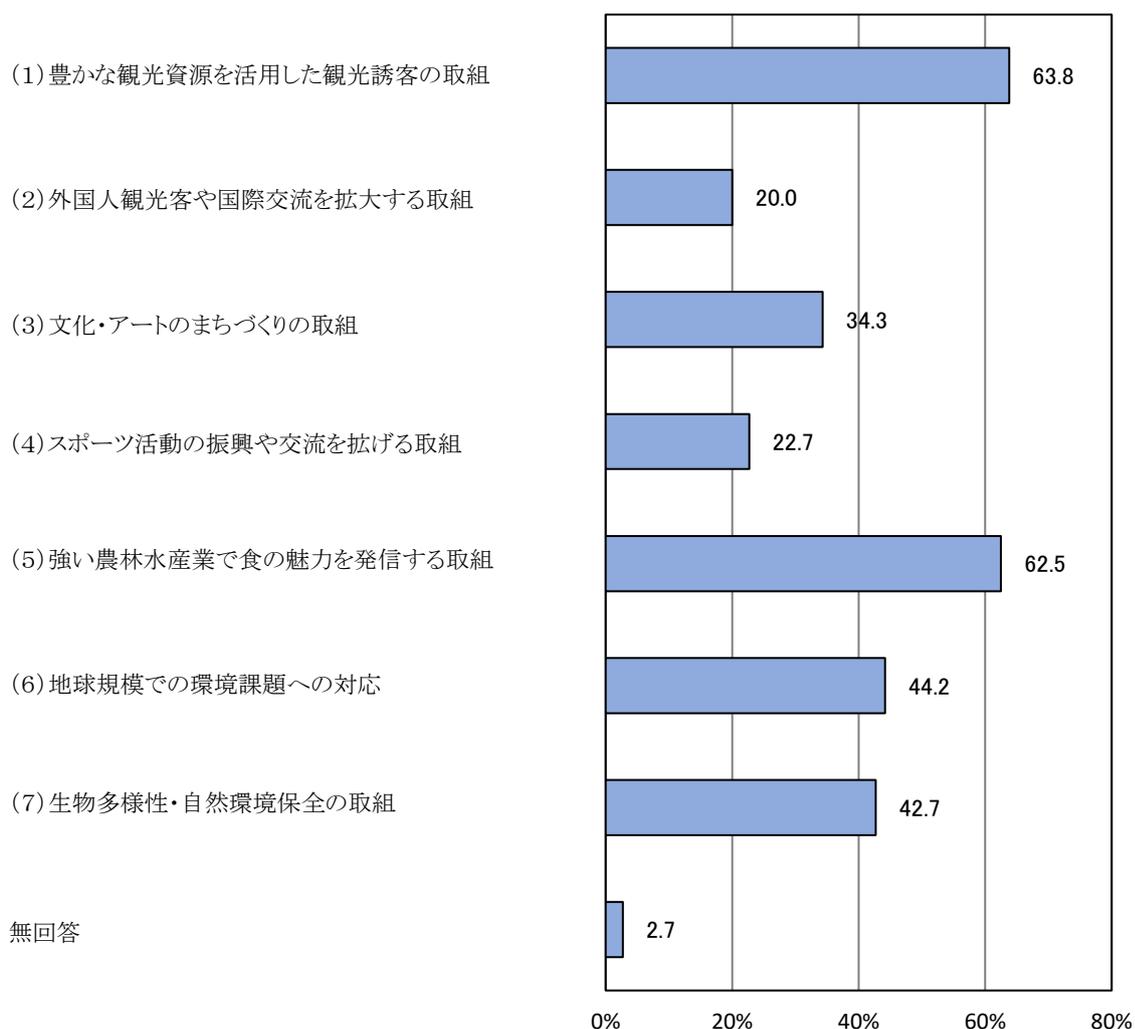
～観光資源を活用した誘客、農林水産による食の魅力発信の取組が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が63.8%と最も高く、次いで「強い農林水産業で食の魅力発信する取組」が62.5%、「地球規模での環境課題への対応」が44.2%と続いている。

「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」は、年代別で見ると年代が若いほど高く、性・年代別で見ると、女性の20歳代で高くなっている。

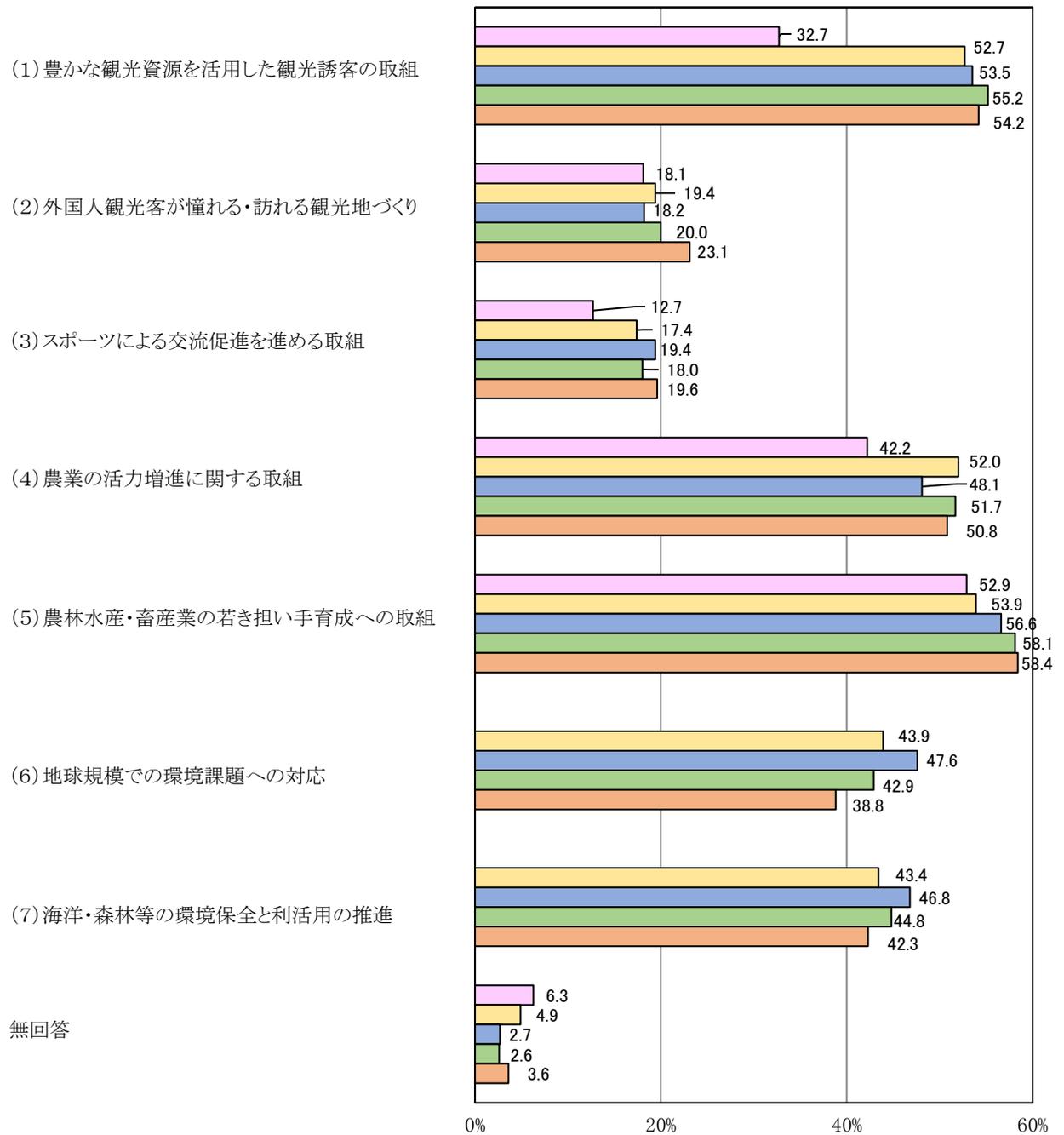
性・年代別で見ると、「強い農林水産業で食の魅力発信する取組」は男性の20歳代、60歳代、女性の30歳代、「地球規模での環境課題への対応」は女性の50歳代以上で高くなっている。

図15 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる項目のうち今後優先すべき(重要度が高い)項目(3つまで)



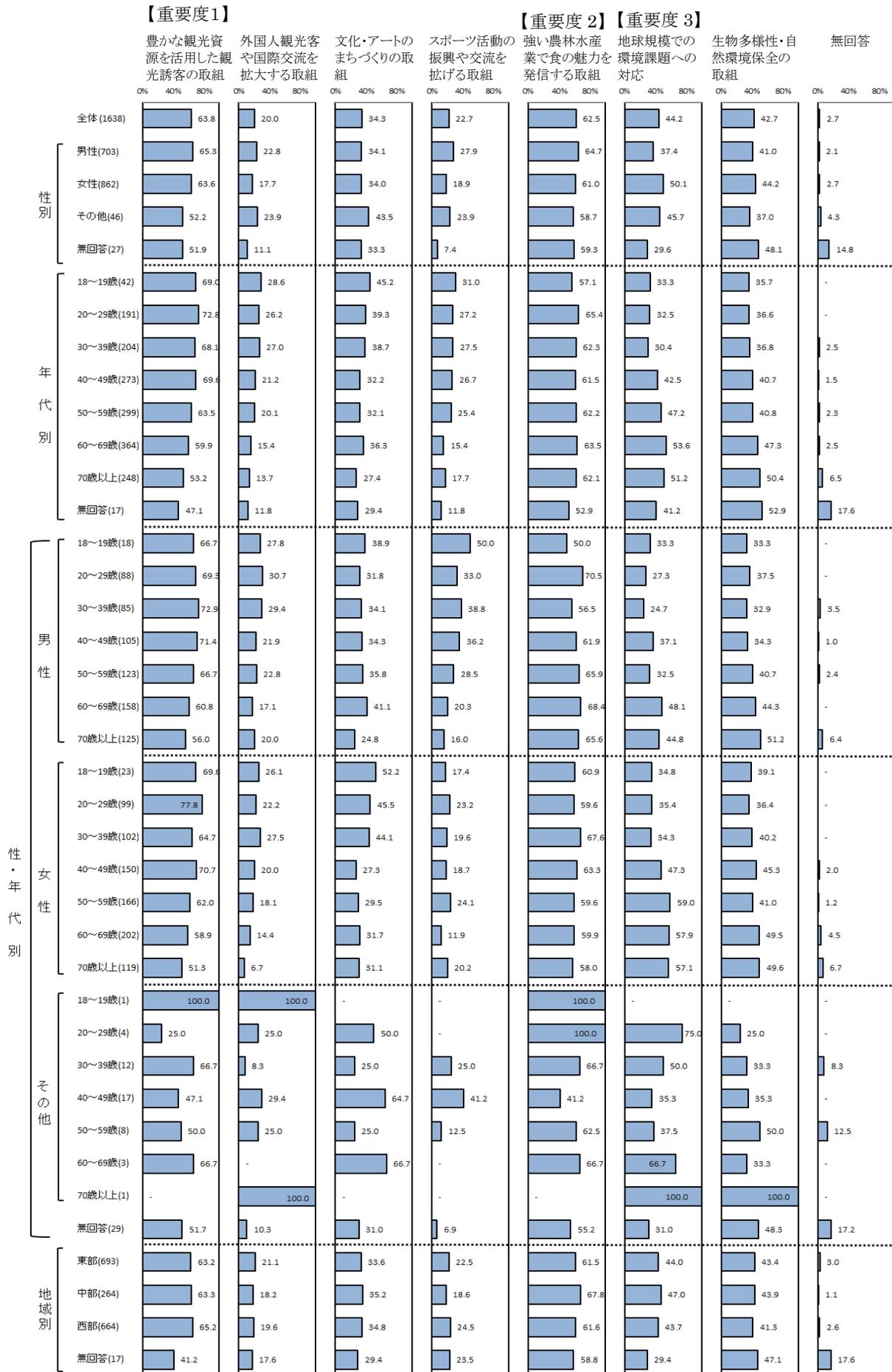
(参考)

図16 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(令和元年～5年度)



□R1年度調査(n=1,500) □R2年度調査(n=1,642) □R3年度調査(n=1,644) □R4年度調査(n=1,760) □R5年度調査(n=1,706)

図 17 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

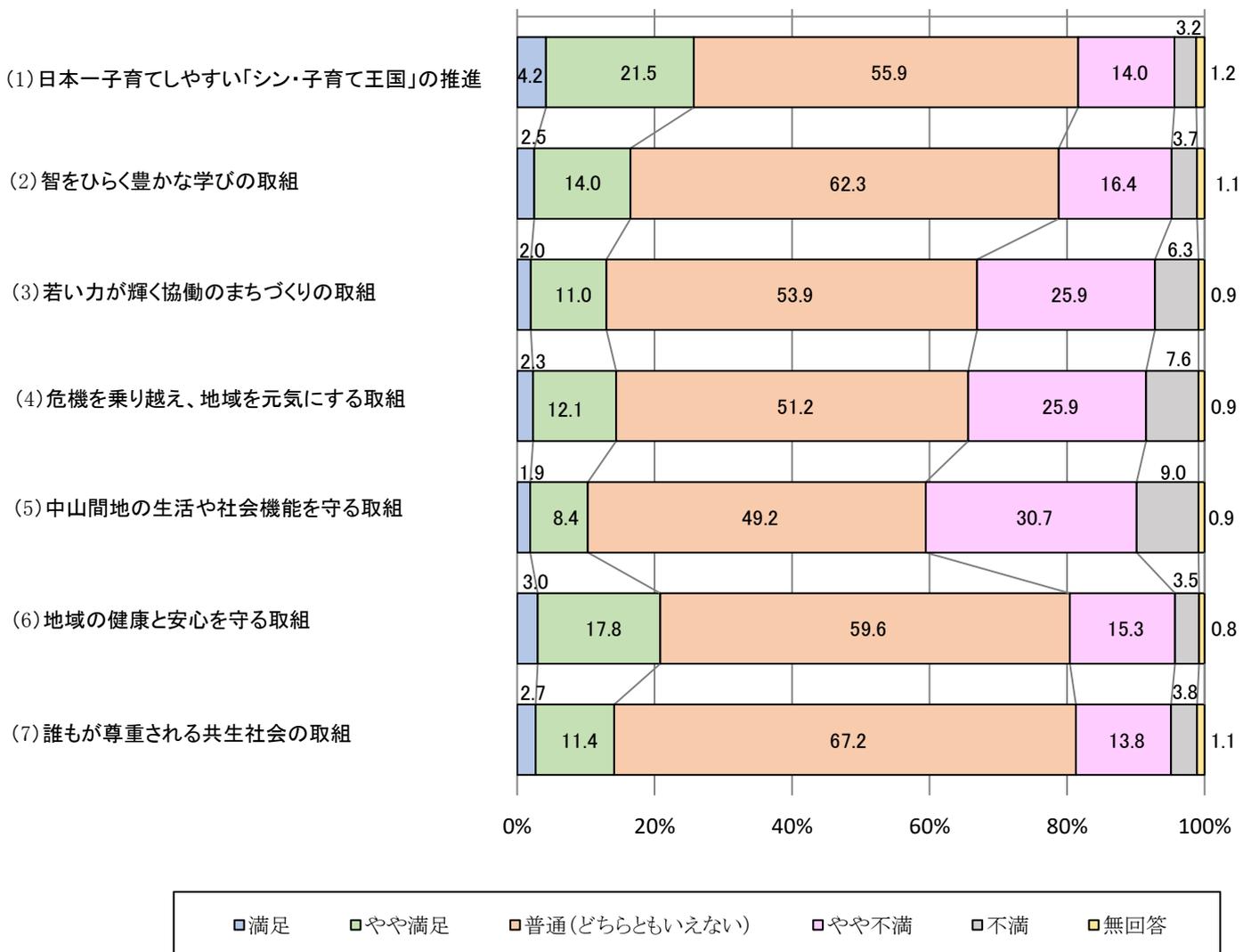
～「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」の満足度が高い～

「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」が 25.7%と最も高く、次いで「地域の健康と安心を守る取組」が 20.8%、「智をひらく豊かな学びの取組」が 16.5%となっている。

また、「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」の満足度は、前年度の類似の項目である「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「地域で子育て世代を支える取組」と比べて、5ポイント以上高くなっている。

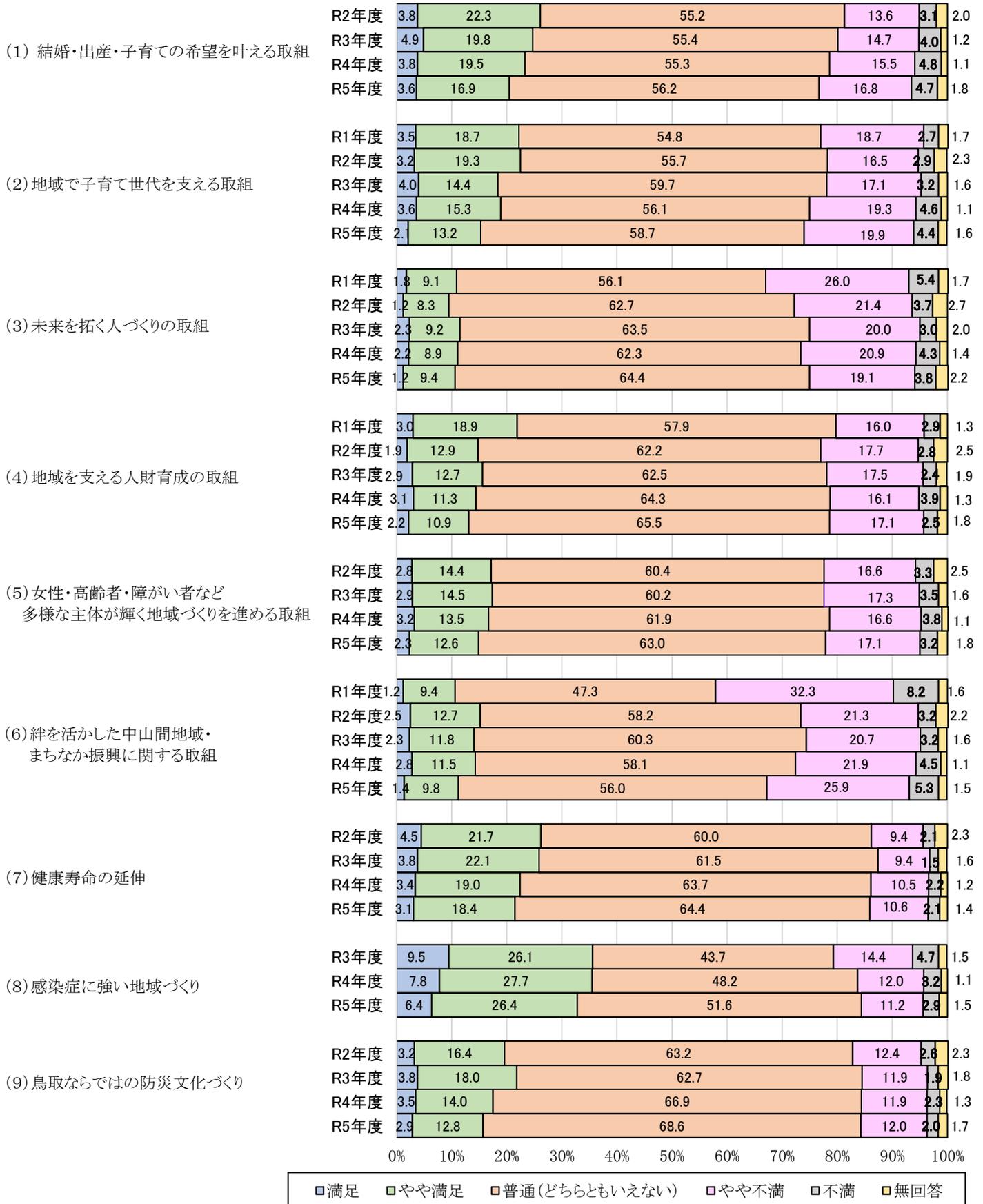
一方、不満(不満・やや不満の合計)については、「中山間地の生活や社会機能を守る取組」が 39.7%と最も高く、約4割が不満を感じている。

図18 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む



(参考)

図 19 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(令和元年～5年度)



問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の施策のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

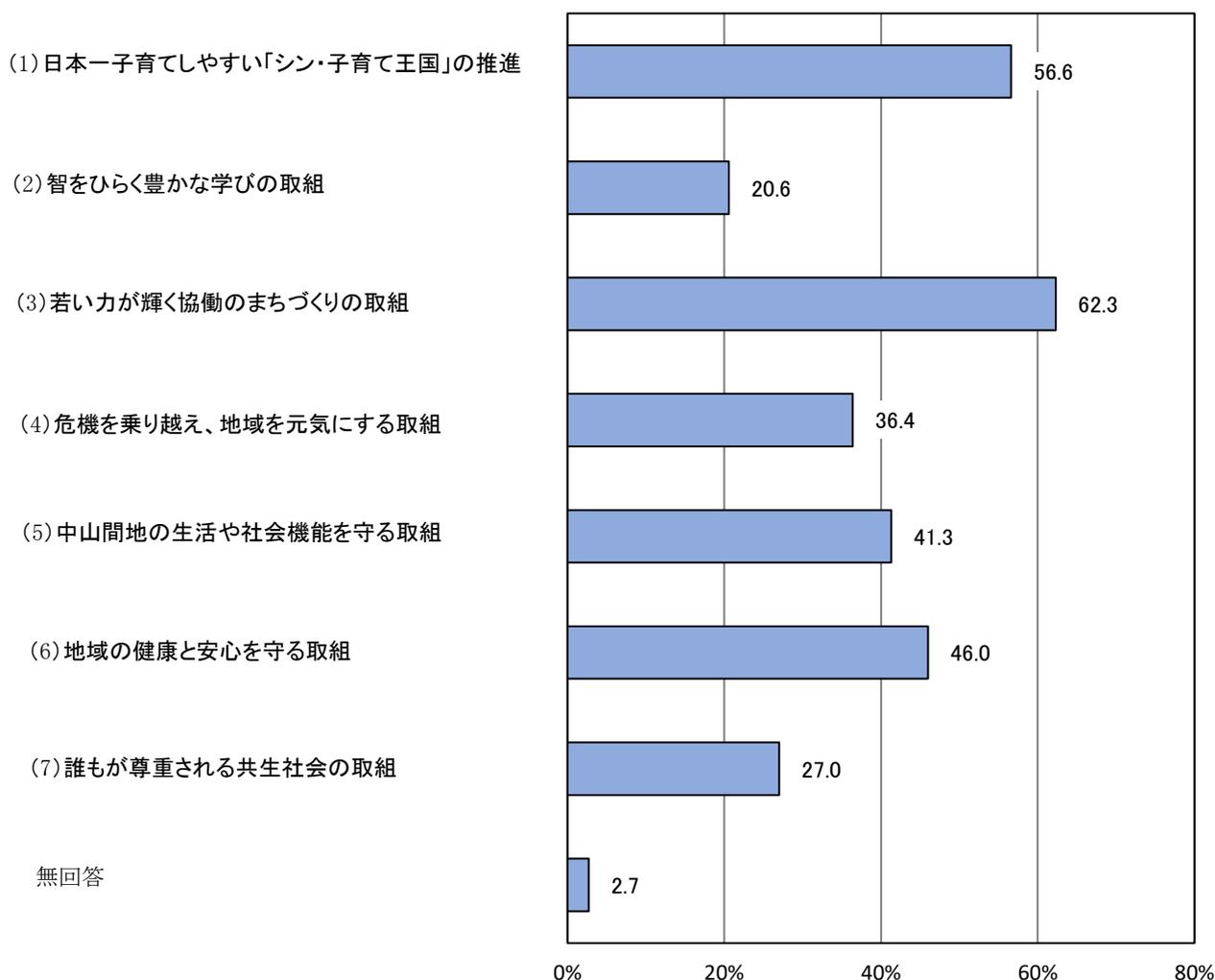
～「若い力が輝く協働のまちづくり」「『シン・子育て王国』の推進」「地域の健康と安心」の取組が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」が62.3%と最も高く、次いで「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」が56.6%、「地域の健康と安心を守る取組」が46.0%となっている。

年代別でみると、「若い力が輝く協働のまちづくり」は20歳代以下、40歳代で高くなっている。

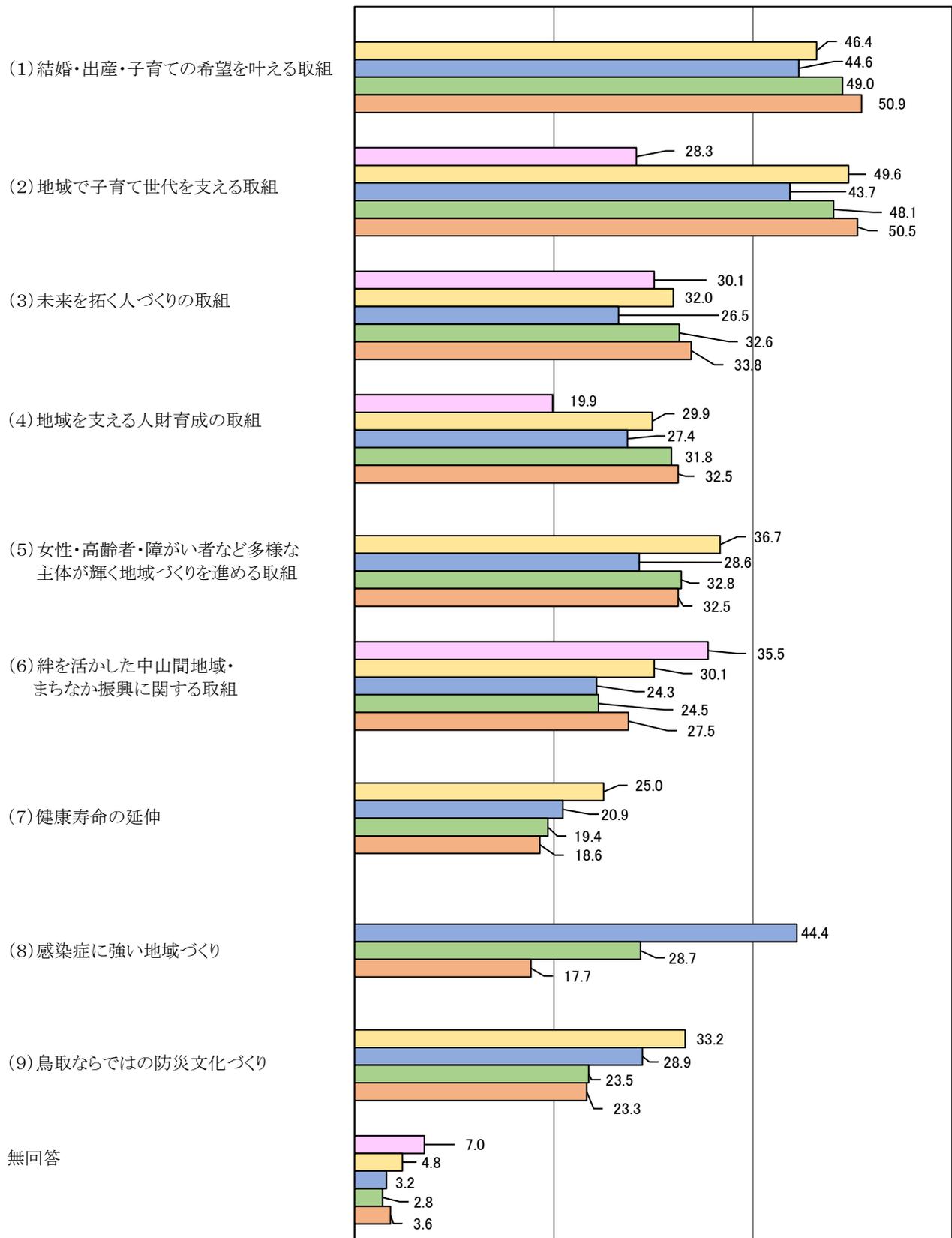
性・年代別でみると、「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」は女性の20～30歳代、「地域の健康と安心を守る取組」は女性の50～60歳代、「中山間地の生活や社会機能を守る取組」は男性の60歳代で高くなっている。

図20 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む項目のうち今後優先すべき(重要度が高い)項目(3つまで)



(参考)

図21 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(令和元年～5年度)



□R1年度調査(n=1,500) □R2年度調査(n=1,642) □R3年度調査(n=1,644) □R4年度調査(n=1,760) □R5年度調査(n=1,706)

3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

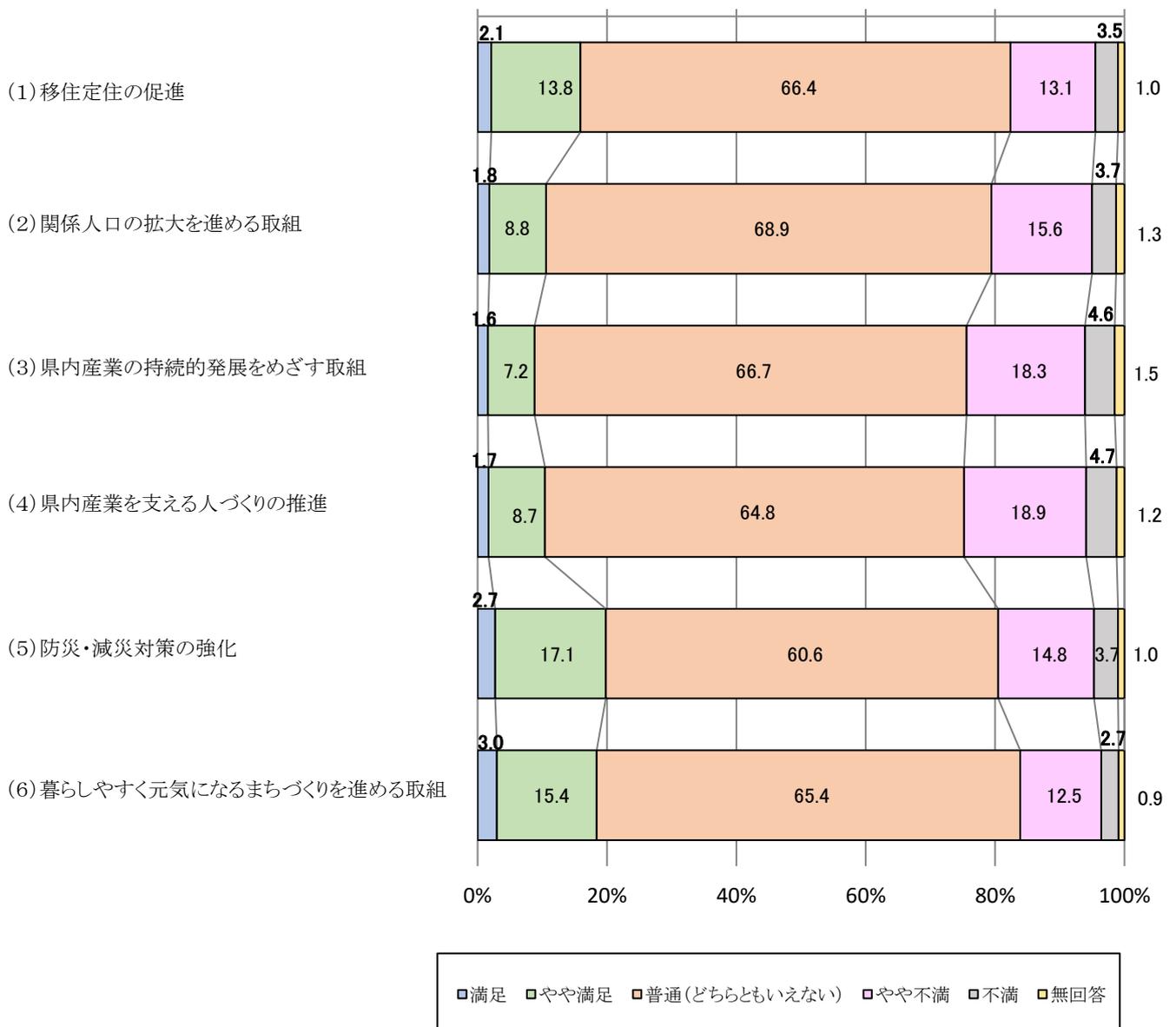
問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～「防災・減災対策の強化」「暮らしやすく元気になるまちづくり」「移住定住の促進」の取組が上位～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「防災・減災対策の強化」が19.8%と最も高く、次いで「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が18.4%、「移住定住の促進」が15.9%となっている。

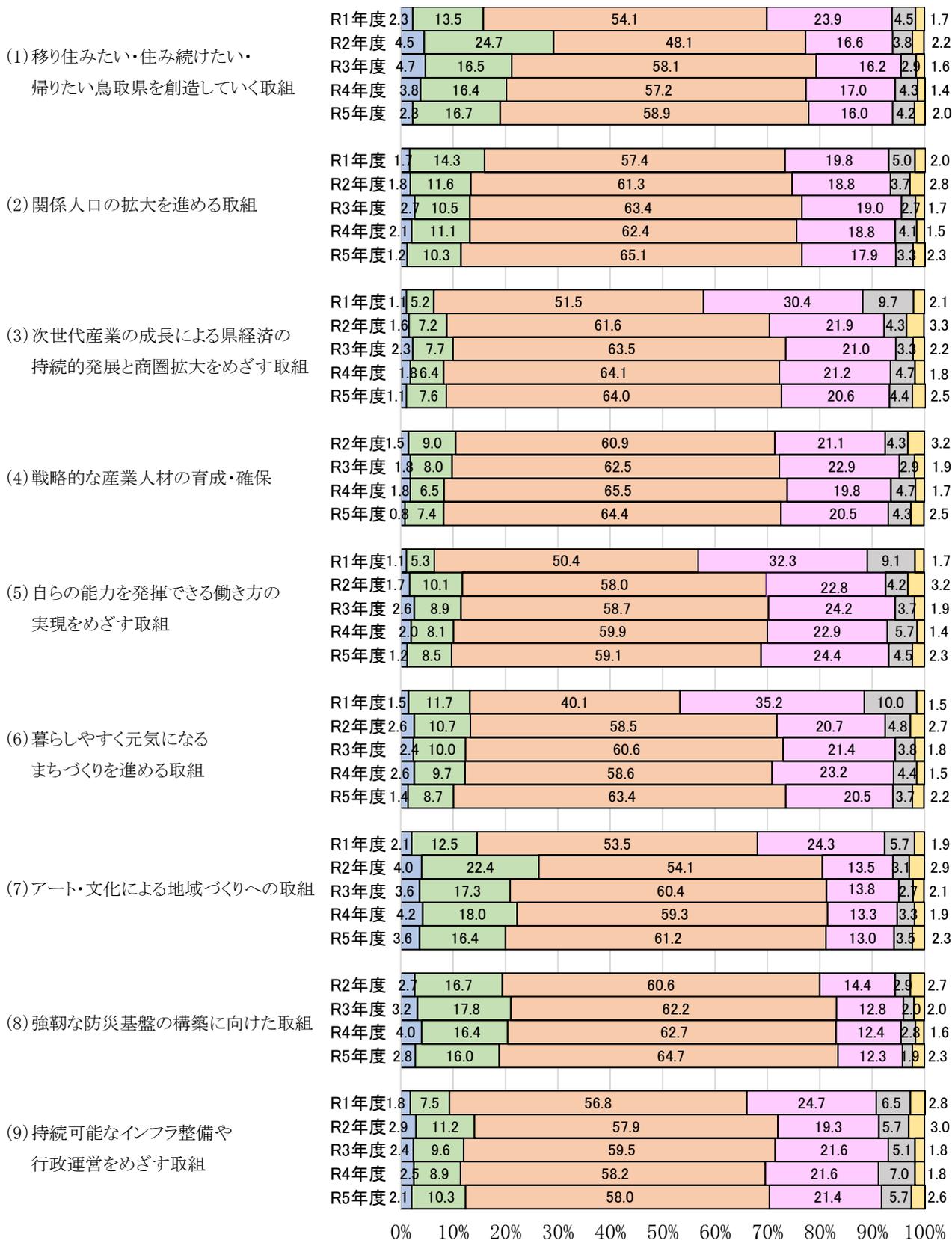
前年度と比較してみると、「暮らしやすく元気になるまちづくりの取組」の満足度が、8.3ポイント増加している。

図23 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ



(参考)

図 24 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(令和元年～5年度)



■ 満足
 ■ やや満足
 ■ 普通(どちらともいえない)
 ■ やや不満
 ■ 不満
 ■ 無回答

問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」の施策等のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

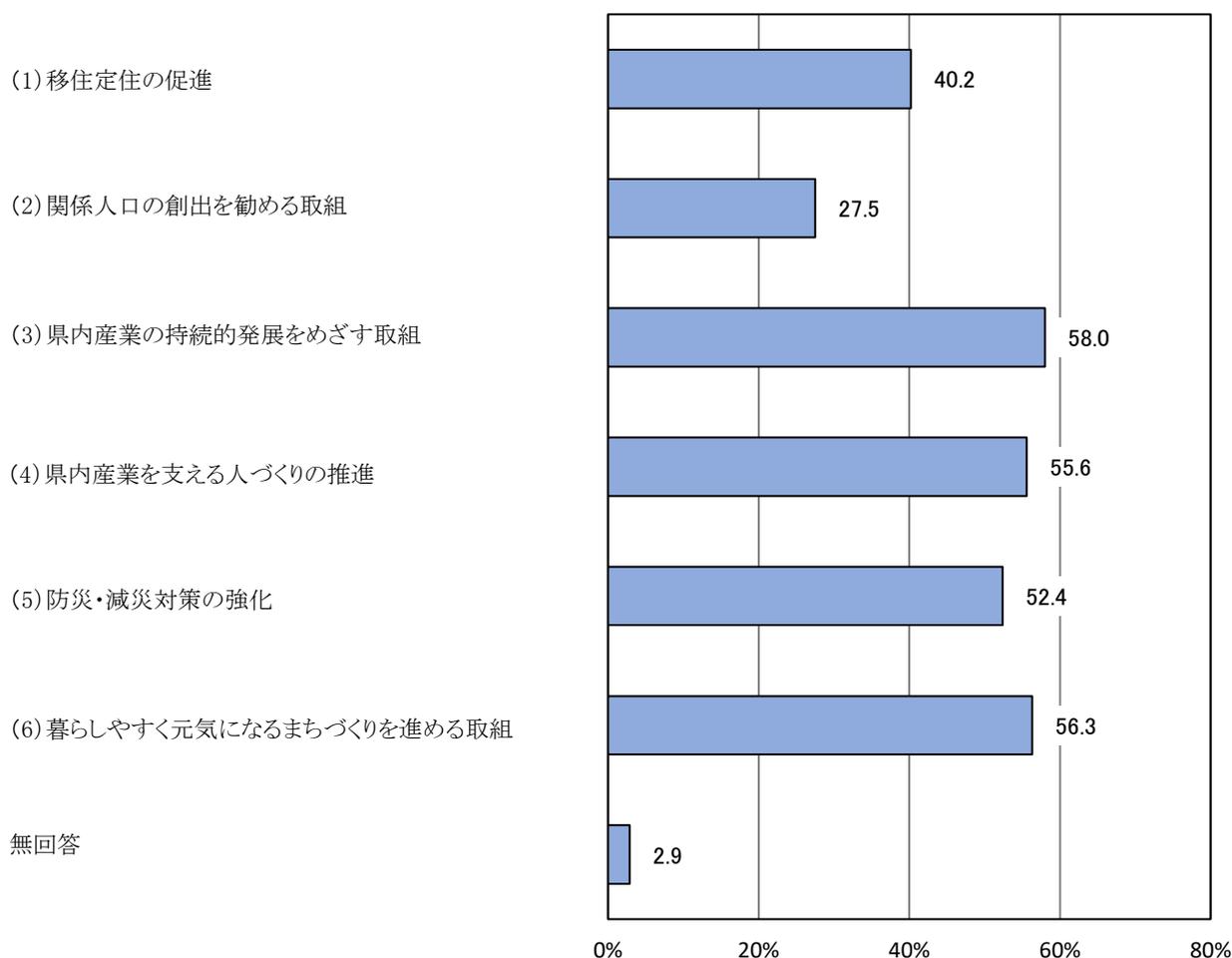
～県内産業の持続的発展・暮らしやすく元気になるまちづくり・県内産業を支える人づくりの推進の取り組みが上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「県内産業の持続的発展をめざす取組」が58.0%と最も高く、次いで「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が56.3%、「県内産業を支える人づくりの推進」が55.6%となっている。

年代別で見ると、「県内産業の持続的発展をめざす取組」「県内産業を支える人づくりの推進」は50～60歳代で高く、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」は20歳代が他の年代と比べて約10ポイント高くなっている。

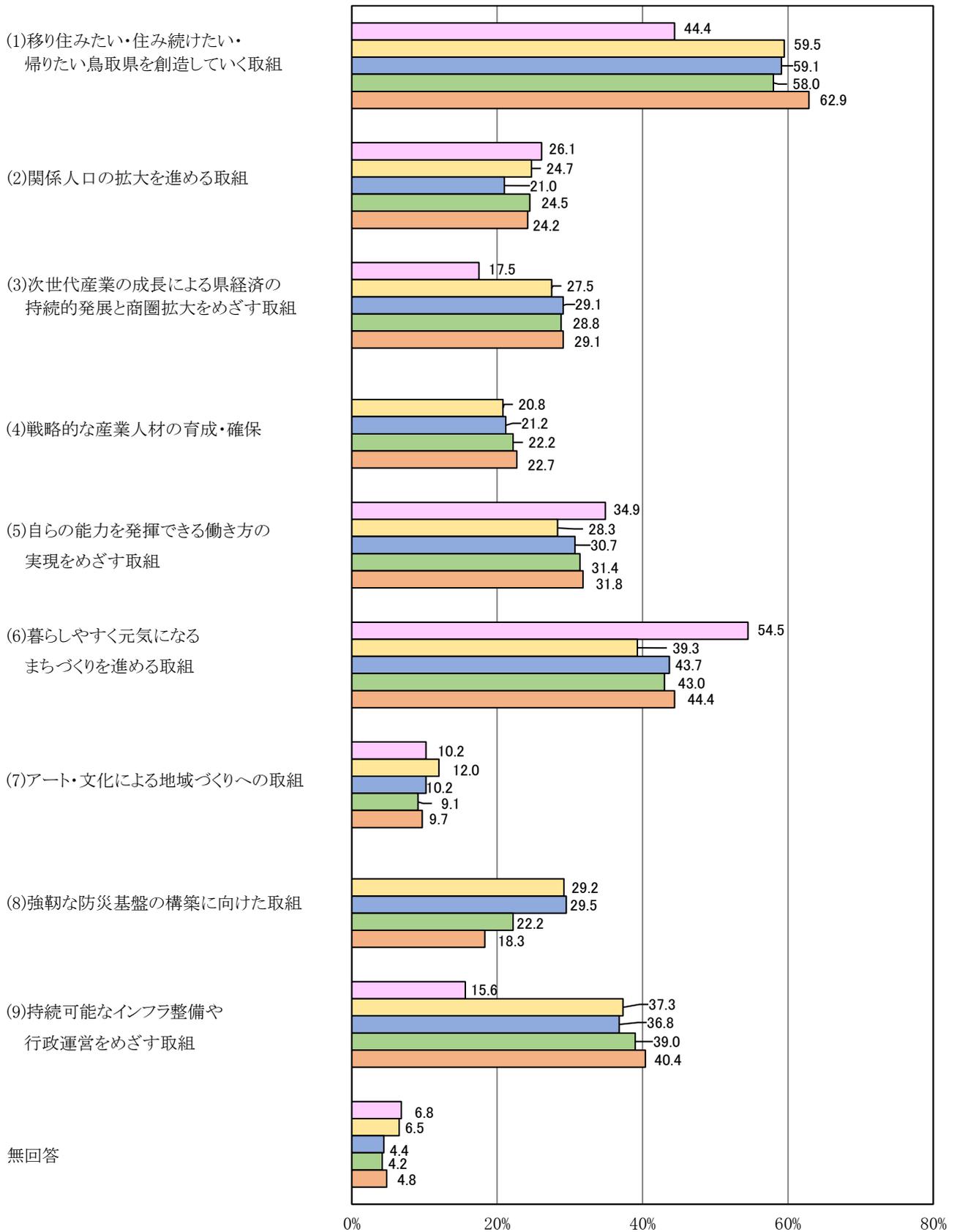
性・年代別で見ると、「県内産業の持続的発展をめざす取組」は男性の50歳代以上、「県内産業を支える人づくりの推進」は男性の50～60歳代、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」は女性の20歳代で高くなっている。「防災・減災対策の強化」は、全ての年代で男性より女性の割合が高くなっている。

図25 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ項目のうち今後優先すべき(重要度が高い)項目(3つまで)



(参考)

図26 「幸せと感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(令和元年～5年度)



□R1年度調査(n=1,500) □R2年度調査(n=1,642) □R3年度調査(n=1,644) □R4年度調査(n=1,760) □R5年度調査(n=1,706)

4 男女共同参画社会づくり

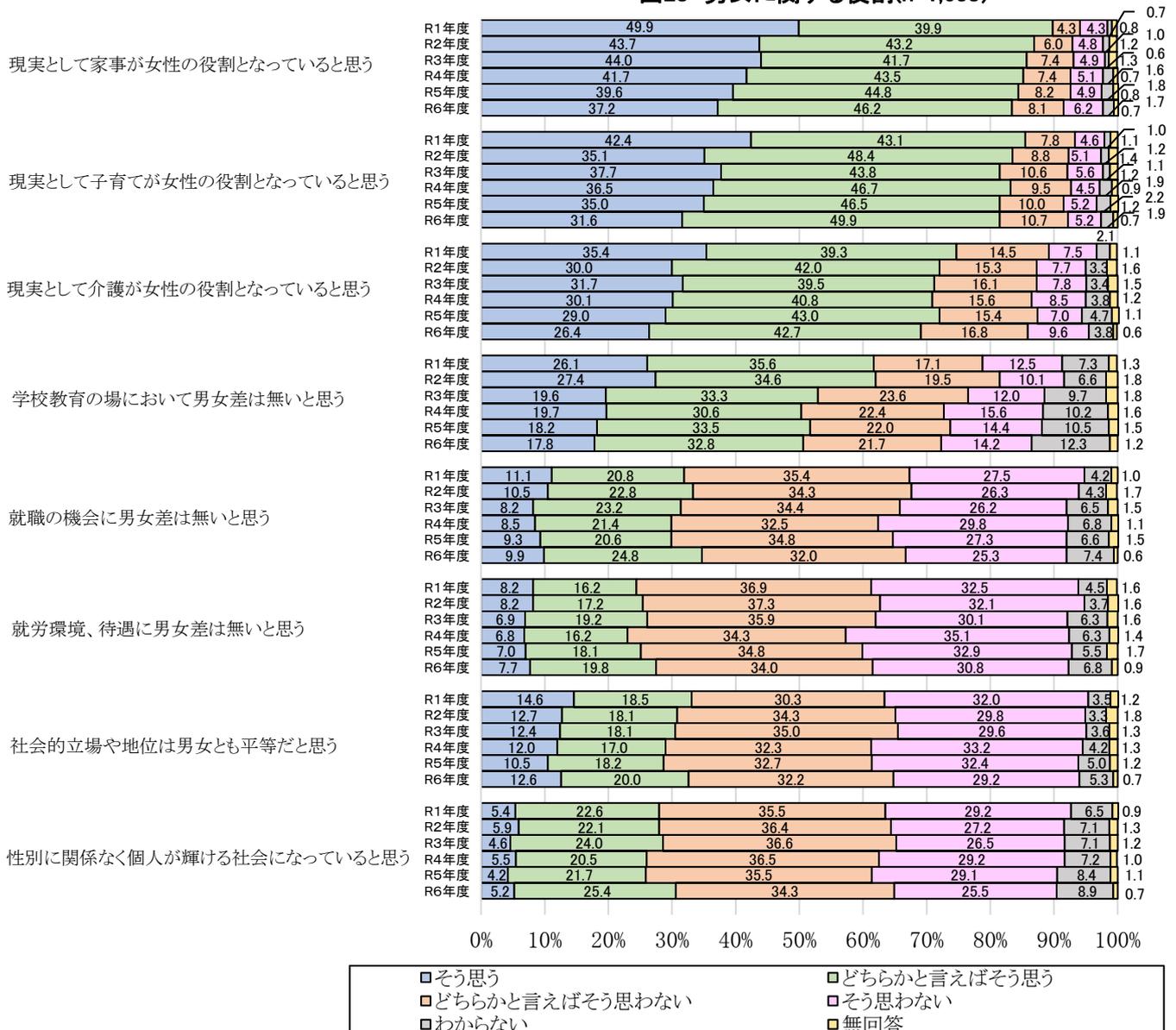
問7 男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか。項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～現実として「家事、子育て、介護が女性の役割」となっていると思う人が多数、就職・就労・社会での男女差は無いとの回答が増加～

男女に関する役割などについて、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせると、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」が83.4%と最も高く、次いで「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」が81.5%、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」が69.1%となっている。

令和元年度-6年度を比較してみると、「就職の機会に男女差は無いと思う」「就労環境、待遇に男女差は無いと思う」「社会的立場や地位は男女とも平等だと思う」「性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う」は「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計の割合が前年度と比較して2～5ポイント程度増加している。

図28 男女に関する役割(n=1,638)



問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が前年度と比較して増加～

男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が 61.1%と最も割合が高く、次いで「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が 51.3%、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が 41.6%となっている。

令和元年度-6年度を比較してみると、「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」は前年度と比較して約7ポイント増加している。

性・年代別でみると、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」は女性の 30 歳代で最も高くなっている一方、男性の 30 歳代は他の年代と比べても低くなっている。「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」は女性の 20～30 歳代で高く、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」は女性の 60 歳代以上で高くなっている。また、「男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発」は男性の 30 歳代で高くなっている。

図29 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか(n=1,638)

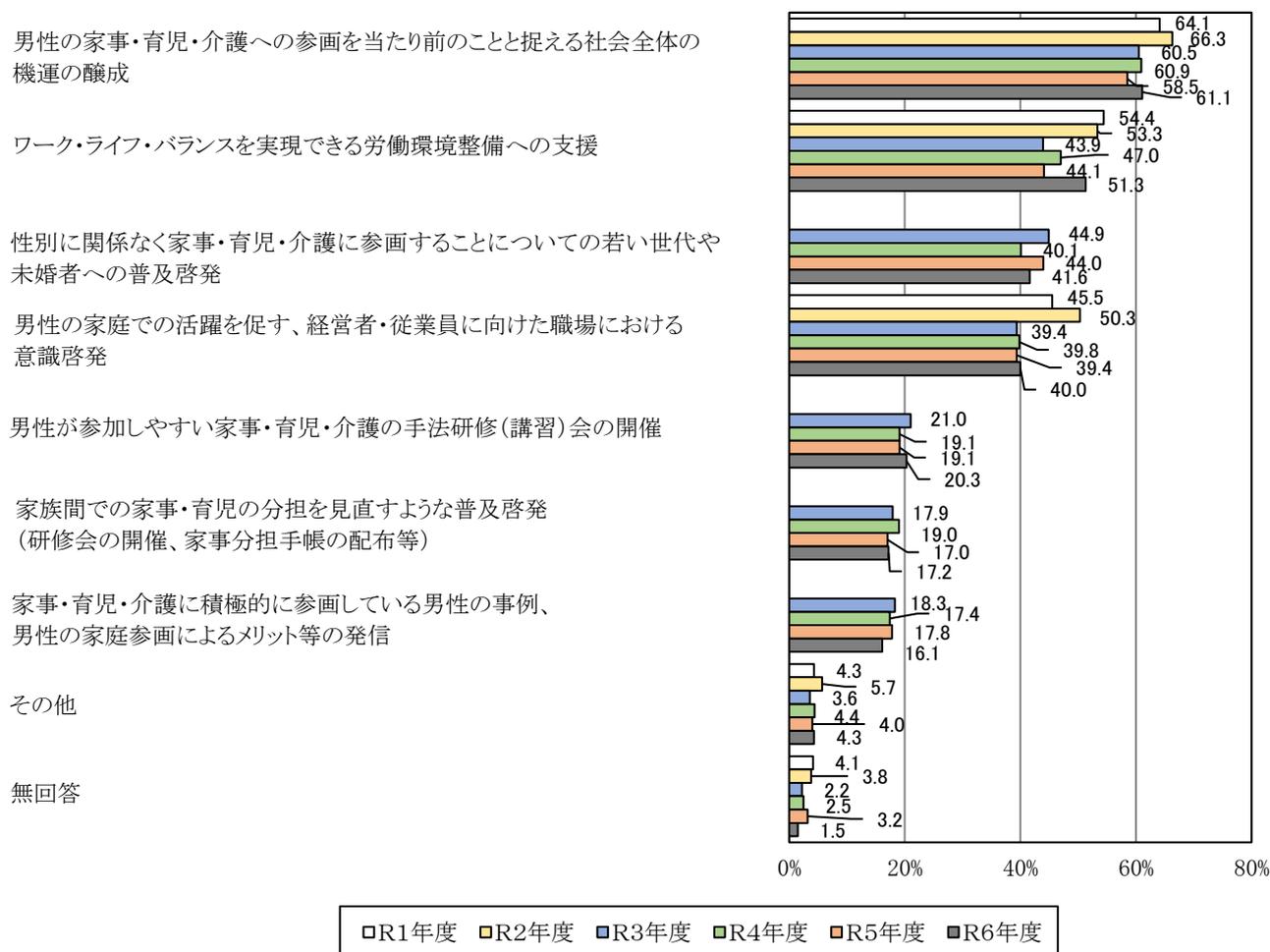
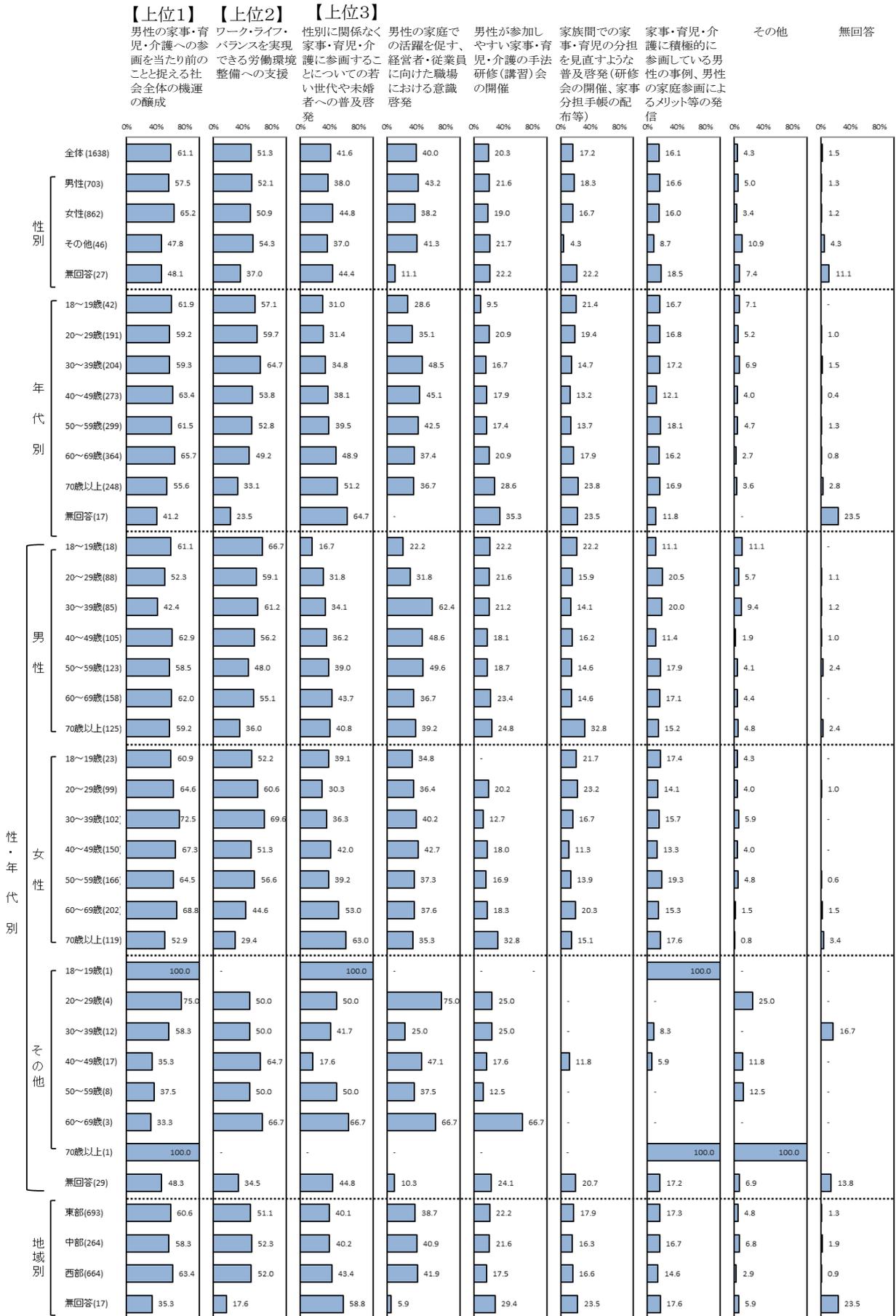


図 30 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策
(性別・年代別・地域別)



問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」や「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が上位～

男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」が58.3%と最も高く、次いで「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が57.4%、「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」が37.5%となっている。

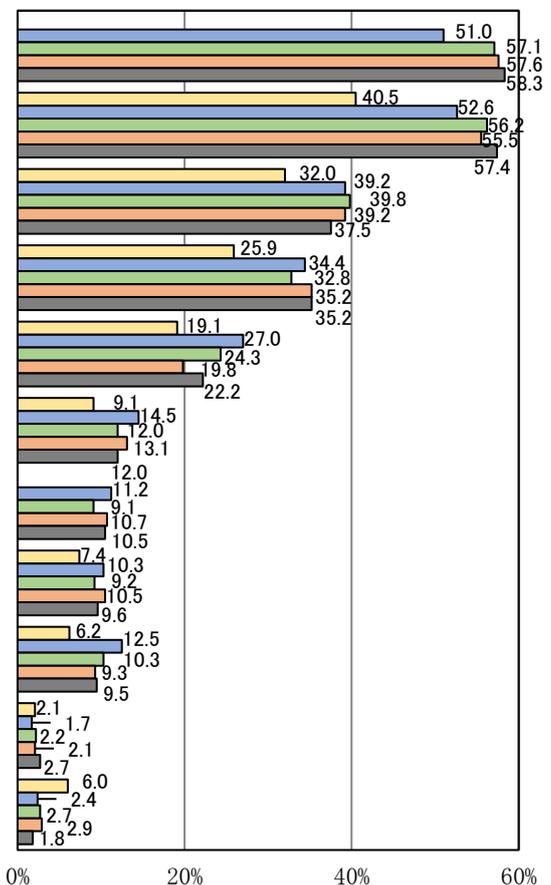
令和2年度-6年度を比較してみると、上記の3項目は常に上位を占めており、「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」は前年度と比較して約2ポイント増加している。

年代別でみると、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」は50歳代以上で高く、「長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、働き方の見直しの啓発」は30歳代以下で高くなっている。

性・年代別でみると、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」は女性の50歳代以上で高くなっている。

図31 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか (n=1,638)

- 保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備
- 性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援
- 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
- 長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、働き方の見直しの啓発
- 固定的性別役割分担意識の解消など男女共同参画の視点に立った教育や学習機会等の充実
- 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援、登用の事例やメリットの発信
- 男女共同参画に関する相談の場の拡充及び周知
- 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 女性に対する暴力を根絶するための取組推進
- その他
- 無回答



■ R2年度 ■ R3年度 ■ R4年度 ■ R5年度 ■ R6年度

